

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 06-260246
 (43)Date of publication of application : 16.09.1994

(51)Int.CI.

HO1R 13/648
 HO1R 9/05
 HO1R 23/02

(21)Application number : 05-046600
 (22)Date of filing : 08.03.1993

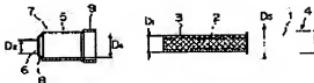
(71)Applicant : YAZAKI CORP
 (72)Inventor : HASHIZAWA SHIGEMI
 INABA JUZO

(54) TERMINAL CONNECTING STRUCTURE FOR SHIELDED CABLE

(57)Abstract:

PURPOSE: To easily and surely perform the terminal treatment of a shielded cable by inserting a metal sleeve to the shielded cable, pushing and contracting the braid, and closely connecting it to the metal sleeve by caulking.

CONSTITUTION: A terminal connecting structure for shielded cable has a shielded cable 4 in which an outer sheath part 1 is peeled to expose a braid 3 on an inner sheath part 2, and a ring metal sleeve 7 having a circular insert hole 6 to the inner sheath part 2 provided on the top end of a through pipe part 5 to the outer sheath part 1. The sleeve 7 is inserted to the cable 4, whereby an inner collar part 8 having the hole 6 pushes and contracts the braid 3 in the sleeve pushing direction, which is then housed in a space 10 on the top end side of the through pipe part 5. Further, the top and side 5a of the pipe part 5 is caulked toward the braid 3 by a caulking jig, and the pipe part 5 is caulked extending from the top end side 5a to the base end side on the outer sheath part 1 to form caulking parts 5a, 5b. The braid 3 is closely adhered to the pipe part 5 by the caulking part 5a, the base part side contracted part 3a of the braid 3 is brought into contact with the pipe part 5 by the caulking part 5b, and the outer sheath part 1 is fixed.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 26.04.1996
 [Date of sending the examiner's decision of rejection]
 [Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]
 [Date of final disposal for application]
 [Patent number] 2772322
 [Date of registration] 24.04.1998
 [Number of appeal against examiner's decision of rejection]
 [Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
 [Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平6-260246

(43) 公開日 平成6年(1994)9月16日

(51) Int. C1.5
H 01 R 13/648
9/05 Z 6901-5 E
23/02 K 6901-5 E

識別記号 序内整理番号
9173-5 E
Z 6901-5 E
K 6901-5 E

F I

技術表示箇所

審査請求 未請求 請求項の数2

O L

(全4頁)

(21) 出願番号 特願平5-46600

(22) 出願日 平成5年(1993)3月8日

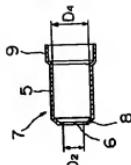
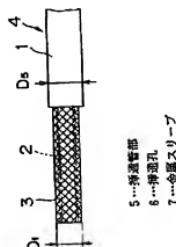
(71) 出願人 000006895
矢崎総業株式会社
東京都港区三田1丁目4番28号
▲橋▼澤 茂美
静岡県榛原郡榛原町布引原206-1 矢崎部
品株式会社内
稻葉 重三
静岡県榛原郡榛原町布引原206-1 矢崎部
品株式会社内
(74) 代理人 弁理士 澤野 秀雄 (外1名)

(54) 【発明の名称】シールド電線の端末接続構造

(57) 【要約】

【目的】 シールド電線の編組を金属スリーブで簡単かつ確実に接続させるシールド電線の端末接続構造を提供する。

【構成】 シールド電線4の編組外側の外皮部1よりも大径なる押通管部5と、編組外径D₁よりも小径で且つ編組内側の内皮部2の外径と同等ないし大径なる押通孔6とを有する金属スリーブ7の押通管部5内に編組3を縮めて収納させ、編組に対して押通管部を加絶接続させた。そして該押通管部5に連成した拡径接続部をシールドコネクタの導電シールド板に押接させる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 シールド電線の編組外側の外皮部よりも大径なる押通管部と、編組外径よりも小径で且つ編組内側の内皮部の外径と同等ないし大径なる押通孔とを有する金属スリーブの該押通管部内に該編組を縮めて収納させ、該編組に対して該押通管部を加締接続させたことを特徴とするシールド電線の端末接続構造。

【請求項2】 前記押通管部に、シールドコネクタの導電シールド板に対する拡径接触部を連成させた請求項1記載のシールド電線の端末接続構造。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、シールド電線の編組を金属スリーブで簡単かつ確実に接続させてなるシールド電線の端末接続構造に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 図7は、実開昭58-147183号公報に記載された従来のシールド電線の端末接続構造、図8はその構造を用いたシールドコネクタを示すものである。該端末接続構造は、シールド電線2の外皮部21と編組23とを図示しないカッタで切断して内皮部22のみを露出させ、図8の如く該内皮部22に環状の金属アダプタ24を押通して、該アダプタ24の筒状部25を該内皮部22と編組23との間に差し込むことにより、該編組23と金属アダプタ24とを接続させるものである。

【0003】 該金属アダプタ24の外周には接触用ばね片26を設けてあり、アダプタ筒状部25と外皮部21とを金属製の環状クリップ27で締付固定せると共に、該ばね片26を導電性のコネクタケース28に接触させてコネクタ29の電気的遮蔽を行わせる。内皮部22内側の芯線30は、コネクタケース28から突出したコネクタピン31に接続される。

【0004】 しかしながら、上記従来の端末接続構造にあってはシールド電線2の編組23をカッタで切断するのに熟練を要し、カッタの切れが悪いと細い金属線の集合である編組23がヒゲ状に残ったり、また切れ過ぎると内皮部22を切断して編組23と芯線30とを短絡させてしまうといった不具合を生じた。また金属アダプタ24の筒状部25を編組23と内皮部22との間に差し込む作業にも熟練を要していた。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は、上記した点に鑑み、シールドコネクタ等の製造に際してシールド電線の編組の取り扱い及び接続を容易に行い得るシールド電線の端末接続構造を提供することを目的とする。

【0006】

【課題を解決するための手段】 上記目的を達成するため、本発明は、シールド電線の編組外側の外皮部よりも大径なる押通管部と、編組外径よりも小径で且つ編組内

側の内皮部の外径と同等ないし大径なる押通孔とを有する金属スリーブの該押通管部内に該編組を縮めて収納させ、該編組に対して該押通管部を加締接続させたシールド電線の端末接続構造を基本とする。そして前記押通管部に、シールドコネクタの導電シールド板に対する拡径接触部を連成させることも可能である。

【0007】

【作用】 外皮部を剥いて内皮部上に編組を露出させたシールド電線に対して金属スリーブを押通させることにより、該スリーブ先端の押通孔に内皮部のみが押通され、編組は該押通孔の外縁によって押通管部内に押し縮められる。そして押し縮められた編組の上から該押通管部を加締めることにより、該編組は金属スリーブに確実に接触する。該押通管部の拡径接触部はシールドコネクタのシールド金属板に押接可能である。

【0008】

【実施例】 図1～3は、本発明に係るシールド電線の端末接続構造の一実施例を示すものである。該端末接続構造は、外皮部1を剥いで内皮部2上に編組3を露出させたシールド電線4と、該外皮部1に対する押通管部5の先端に、該内皮部2に対する円形の押通孔6を形成させた円環状の金属スリーブ7とにより構成される。

【0009】 該金属スリーブ7は銅や黄銅ないしはリン青銅等により形成され、該押通孔6は、押通管部5の先端に連成された内鈎部8の中央に、編組外径D₁よりも小径(D₂)で且つ編組内側の内皮部2の外径D₃と同等ないし若干大径に形成される。また該押通管部5の内鈎部D₄はシールド電線4の外皮部1の外径D₅よりもやや大径に形成される。該押通管部5の終端側には該押通管部5よりも大径なる拡径部9を形成し、後述するコネクタ接触部兼防水栓嵌着部となしている。

【0010】 そして図2の如く金属スリーブ7をシールド電線4に押通させることにより、押通孔6に内皮部2のみが押通し、該押通孔6を有した内鈎部8が編組3をスリーブ7に押し込み方向に押し縮めて押通管部5の先端側の空間1 内に収納させる。

【0011】 さらに図3の如く該押通管部5の先端側5aを図示しない加締治具により該編組3に向けて加締めると共に該先端側5aから外皮部1上の基端側にかけて該押通管部5を加締めて(5b)、二段の加締部5a、5bを形成させる。第一の加締部5aにより編組3が押通管部5に密接し、第二の加締部5bにより該編組3の基部側縮み部3aが押通管部5に接触すると共に外皮部1が締付固定される。なお加締部5bは必ずしも加締める必要はない。上記加締治具としては例えば断面六角形状の上下圧縮型が用いられる。

【0012】 さらに、内皮部2の先端は皮剥きされ、露出導体部11に図4の如く端子12が接続される。該端子12はシールド電線端末部13と共に、金属シールド板14を内設したコネクタハウジング15内に押着さ

れ、シールドコネクタ17を構成させる。金属スリーブ7は該シールド板14に終端側の拡径部9を接触させてシールド電線4の編組3とシールド板14とを接続させる。該拡径部9内には防水ゴム栓16が挿入嵌着され、該ゴム栓16の弾発力により拡径部9はシールド板14に押接される。

【0013】図5は金属スリーブの他の実施例を示すものであり、該金属スリーブ7'は、挿通管部5'の終端方の拡径部9'に複数の接触用弹性片18を外側に向か放射テバ状に拡張連成したものである。該弹性片18の表面には接触突起19を形成してあり、図4のコネクタ17の金属シールド板14に該突起19を弹性片18にばね力により押接可能である。

【0014】図6は該金属スリーブ7'の接続固定状態を示し、前例同様、先端方にシールド電線4'の縮められた編組3'に対する加絞部5'aと外皮部1'に対する加絞部5'b(加絞めなくともよい)とを形成させ、終端方の拡径部9'内に防水ゴム栓16'の先端方を加絞嵌着させ、該拡径部9'に連成した前記弹性片18を該ゴム栓16'に沿ってテバ状に拡張させている。該弹性片18は前記コネクタ17への押着と同時に前記金属シールド板14にばね力により確実に接続される。

【0015】

【発明の効果】以上の如くに、本発明によれば、シールド電線の編組を切断する必要がなく皮剥き作業が容易となる。そしてシールド電線に金属スリーブを挿通させるることにより編組が押し縮められ、加絞により該金属スリーブに密着接続されるから、シールド電線の端末処理を簡単且つ確実に行わせることができる。そして該金属スリーブの拡径接続部をシールドコネクタの導電シールド

板に押接させて確実な電気的遮蔽を行わせることができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るシールド電線の端末接続構造の一実施例を示す縦断面図である。

【図2】同じくシールド電線に金属スリーブを挿通させた状態を示す縦断面図である。

【図3】同じく金属スリーブを加絞めた状態を示す縦断面図である。

【図4】上記端末接続構造を適用したシールドコネクタを示す縦断面図である。

【図5】金属スリーブの他の実施例を示す斜視図である。

【図6】同じく金属スリーブを電線端末に接続固定させた状態を示す縦断面図である。

【図7】従来のシールド電線の端末接続構造を示す縦断面図である。

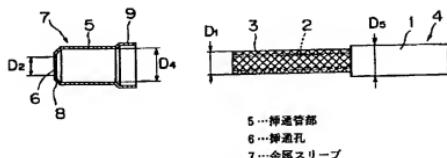
【図8】同じくシールドコネクタを示す縦断面図である。

【符号の説明】

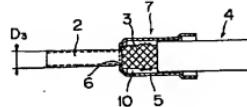
1, 1'	外皮部
2	内皮部
3, 3'	編組
4, 4'	シールド電線
5, 5'	挿通管部
6	挿通孔
7, 7'	金属スリーブ
9	拡径部
18	接触用弹性片

30

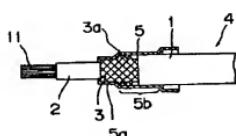
【図1】



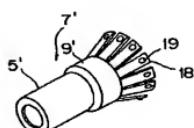
【図2】



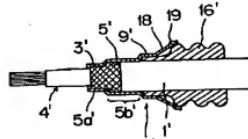
【図3】



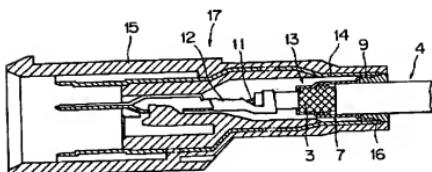
【図5】



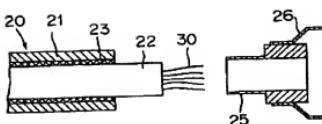
【図6】



【図4】



【図7】



【図8】

